

東 都 大 学

図 書 館 通 信

幕張キャンパス 第23号

【編集】幕張分館司書 菱村宏子

図書館員……神崎敦子・川島伊吹

【編集協力】幕張分館図書館運営委員会

理学療法学科…小久保博樹(図書館長)

看護学科……川野英子・井波千穂子

臨床工学科……山下知子・治田宗徳

健康科学科……廣瀬永子



今号は、健康科学科の横地正裕先生より、
おすすめの本を2冊紹介していただきました。
ご紹介いただいた本はすべて図書館に所蔵し
ていますので、ぜひ借りてください！

おすすめ本

①

『科学的思考のススメ「もしかして」からはじめよう』

健康科学科 横地正裕

本書は、昨年度より開講した健康科学科の必修科目である「科学リテラシー」のテキストとして採用した書籍である。「科学リテラシー」とは、一言で言うと、「科学的思考をもとに、真実を見抜く力」と表現することができる。しかし、言うはたやすいものの実行するのは簡単ではなく、まず「科学的思考」とは何か、またどのような思考方法で、どのようにすれば身につくのかということを、知る必要がある。本書は、その道しるべとなるように、非常にわかりやすく、具体例をたくさんあげて書かれているため、ぜひ健康科学科の学生だけでなく、多くの人に手に取って読んでいただきたいと思います。

本書の元になっているのは、東北学院大学の教養教育科目のひとつである「科学的思考の基礎」の教科書である。教養教育科目は、「豊かな人間力」を育てることを目的として設定された科目群であり、「知力」を柱に「共生力」、「コミュニケーション力」、「表現力」、「創造力」、「自己実現力」を身につけることを目指し、文系・理系を問わず全学1・2年生に開講されているそうで、その中でも、「科学的思考」は、これらの力を広くカバーして、使いこなすうえで必須の思考法とされている。

昨年度、実際に使用した経験からすると、日常でよく遭遇する事象から学生に考えさせていく中で、自然と科学的思考が身についていくよ

うにできていて、大学生として本気で学問に取り組みたいと思っている学生にとっては、非常に興味深い内容であったようである。本書を手にとっていただくことで、少なくとも、「みんなが〇〇しているから、私も〇〇する。」などという単純な思考にもとづいて行動するのではなく、「自分で考え、判断して行動することができる」学生が、ひとりでも増えるように願っている。

あわせて今回、私のリクエストにより、科学的思考、科学リテラシーにつながる書籍として「チ。ー地球の運動についてー」という単行本も、図書館に購入していただいた。機会があれば、ぜひこれも手に取っていただければと思っています。



①



②

①科学的思考のススメ「もしかして」からはじめよう
牧野徳也[ほか]著 ミネルヴァ書房 2021年

②チ。ー地球の運動についてー 第一集
◎魚豊/小学館



おすすめ本
②

『海は忘れない』

健康科学科 横地正裕

村上しいこ著
『海は忘れない』
小学館
2025年



本書は、7月に出された新刊です。

『成瀬は天下を取りに行く』という本が、とても面白かったので、その続きの『成瀬は信じた道をいく』をイトーヨーカドー幕張のくまざわ書店に買いに行ったところ、その横に山積みされていたのが、この本でした。

表紙の絵は、女子高生二人が手を合わせているものですが、そのとき、本の帯に目が釘付けになってしまいました。そこには、「戦争を遠い歴史と思っている若い世代が自分事として戦争を考えられる作品。多くの人に読んで語ってほしい一冊です。戦後80年、決して忘れてはならない想い、真実。渾身の反戦エンタメ小説」と書かれていました。その言葉に惹かれて思わず手に取って表紙を開いてみたら、さらなる驚きが……。何と小説の舞台は、私の故郷である三重県伊勢市でした。それも主人公は、私と同じ高校に通っていて、住んでいるところは、私が生まれ育った伊勢市河崎町でした。高校の名前は、架空名でしたが、出身者だけにはわかるちょっとしたからくりが使われていて、私にはすぐにわかりました。

もちろん、まずは成瀬の本には、もう少し待っていてもらって、真っ先に購入。持ち帰って一気に読んでしまいました。

内容としては、高校2年生の遙瑠(はるる)が、ある日自転車事故に遭い、戦争の爪痕が色濃く残る昭和33年にタイムスリップしたところから始まります。タイムスリップをしたのが、戦時中ではなく、終戦から10年以上経った時代というところに、作者のひとつの意図が感じられました。そこで別人の「浜口晴子」として暮らし、戦後の時代を懸命に生きる多くの人と関わるうちに、誰しもが苦しみ、悶えぬいた現実を深く実感します。令和の時代を生きる高校生にとっては歴史上のことだった「戦争」が、普通に生きる人々を巻き込み、その傷跡は決して癒えることがないものだったことを、彼女は知ることになります。そして、晴子としての思い出もたくさん作り楽しく暮らしていたある日、事故により、また令和の時代に戻ることにになりますが、令和に戻った遙瑠は「未来に生きている自分ができることは何だろう」と戦争への認識を新たに、「伝える人」として歩を進めることになります。そんな中、祖父に連れられていった読書会では大きなサプライズがあり……。

ここまで読んで、自然と涙が溢れてきました。清々しい涙でした。

作者の「村上しいこ」さんは、児童文学作家でもあります。それもあってか、とても読みやすい自然に心に染み入ってくる文体で書かれています。戦後80年という今、この時代だからこそ読んでほしい本だと思いました。

また、この本に出会ったのは、偶然だったのでしょうか。自分にとっては、故郷に呼び寄せられたのかもしれないという想いもあり、今でもその点では、不思議な気持ちがしています。

※内容の紹介は、多くの部分で、
小学館の書籍紹介文を引用しています。

図書館からのコメント

横地先生が文中に触れられている
成瀬シリーズは図書館にも所蔵しています！
12月には第3弾が発売されるそうです！

- ①宮島未奈 著『成瀬は天下を取りに行く』(新潮社刊) 図書館所蔵あり
②宮島未奈 著『成瀬は信じた道をいく』(新潮社刊) 図書館所蔵あり
③宮島未奈 著『成瀬は都を駆け抜ける』(新潮社12月刊行予定) 図書館所蔵予定



①



②



③



図書館からのお知らせ

医書.jp オールアクセス トライアル実施中!

医療系の主要出版社22社、学会誌も含め118誌、
論文約65万件を無料でダウンロードできます!!

最新号から
バックナンバーまで
多くの論文に
アクセス可能!

学外からも、
スマホや
タブレットからも
利用できます!

トライアルは
12月末まで!
この機会に是非
ご活用ください!



ログインはこちらから



本学学生・教員は、
施設共有ID・PWでログインできます

施設共有ID・PWは、
ポータルサイトを確認してください(※)
図書館に聞いていただいてもOK!

<http://webview.isho.jp/journal>



The screenshot shows the isho.jp website with the following elements:

- Header: isho.jp logo, navigation links for journals, books, and e-books.
- Search Bar: A text input field for keywords, a dropdown menu for search scope (set to 'すべて'), and a search button.
- Filtering Options: Checkboxes for '契約中のコンテンツのみ' and '書誌情報', and a link to '詳細検索 by 医中誌'.
- Navigation: 'トップ > 契約雑誌一覧' and a download link for '雑誌リストダウンロード'.
- Search Filters:
 - 雑誌名で絞り込む: A text input field and a '絞り込む' button.
 - 頭文字で絞り込む: Buttons for A-Z, あ行, か行, き行, た行, な行, は行, ま行, や行, ろ行, わ行.
 - 雑誌分野で絞り込む: A dropdown menu.
- Results: A list of journals with their covers, including 'Clinical Engineering', '細胞工学', '臨床栄養', '薬師が語る', 'Medical Technology', and '検査と技術'.

キーワードから
文献を検索できます

雑誌名から
文献を検索できます

閲覧可能な雑誌が
表示されます

※ID・PWは、ポータルサイトからご確認ください
東都大学ポータルサイト(幕張)>資料集>図書館>2. 電子ジャーナル・DBパスワード一覧





医中誌webからもアクセス可能！

オールアクセスに収録されている論文を、医中誌webの検索機能を使って検索することが可能です



医書.jpのアイコンがあればその文献に直接リンクすることができます

※医中誌Webからアクセスする際は施設共通IDでログインしてください

【注意事項】

- ・一度に大量の印刷やダウンロードすることはできません。
- ・同一論文を複数部ダウンロードすることはできません。(利用は自分自身に限定してください)
- ・雑誌をほぼ丸ごと一冊ダウンロードすることはできません。(複数の日に渡って最終的に1号分となるような利用も不可)
- ・ID・PWを第三者に知らせてはいけません。

参加出版社

医学書院／医歯薬出版／ヴァン メディカル／科学評論社／Gakken／金原出版／協和企画／克誠堂出版／金剛出版／社会保険研究所／照林社／診断と治療社／東京医学社／南山堂／南山堂／日本看護協会出版会／日本メディカルセンター／文光堂／三輪書店／メジカルビュー社／メディカルレビュー社／メディカル・サイエンス・インターナショナル

雑誌紹介(一部)



エキスパートナース



訪問看護と介護



理学療法ジャーナル



総合リハビリテーション



Clinical Engineering



▼ご利用ガイドはこちらをご参照ください(図書館にて冊子版を配布しています)

https://www.isha.jp/wp-content/uploads/2025/05/aaguide_2504.pdf

トライアルは、**2025年12月31日**まで

特集展示のご案内

今回のテーマは

Deaf

— きこえない・きこえにくい
そして手話の世界へ



2025年11月、日本でデフリンピックが開催されます。

「Deaf：耳がきこえない」＋「オリンピック」
きこえない・きこえにくい人のためのオリンピックです。
オリンピック・パラリンピックと同様に、4年毎に開催され、今年で100周年、日本では初めての開催です。
図書館では、聴覚障害や手話をテーマにした図書、小説や漫画を特集コーナーに展示します。医療施設などで聴覚障害者と接したとき、あなたはどのようにコミュニケーションをとりますか。筆談や口話が使われることが多いと思いますが、図書館には、医療スタッフが現場で使える手話の本もあるので、この機会に聴覚障害や手話の世界について知るきっかけになればと思います。ぜひご覧ください。